

第四十五回帝國議會
衆議院

朝鮮事業公債法中改正法律案外三件

朝鮮事業公債法中改正法律案
臺灣事業公債法中改正法律案
樺太事業公債法中改正法律案
關東州事業公債法中改正法律案
南洋廳特別會計法案
大正五年法律第四號中改正法律案

委員會會議錄(速記)第四回

會議

大正十一年二月二十日午前十時四十三分開議

出席委員左ノ如シ

委員長 澤 來太郎君

理事 白井 博之君

齋藤 壽雄君

福井 甚三君

坂本 素魯哉君

古賀 三千人君

理事 正木 照藏君

菅野 傳右衛門君

水野 吉太郎君

山道 襄一君

松井 鐵夫君

同月十八日委員武内作平君辭任ニ付其ノ補闕トシテ山道
襄一君ヲ議長ニ於テ選定セリ
出席政府委員左ノ如シ

拓殖局長官 川村 竹治君
關東廳事務總長 土岐 嘉平君
關東廳事務官 西山 左内君
樺太廳事務官 永井 金次郎君
樺太廳事務官 石坂 豐一君
樺太廳事務官 神野 勝之助君
大藏書記官 太田 嘉太郎君
大藏書記官 河田 烈君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關東州事業公債法案

○澤委員長 御著席ヲ願ヒマス——是ヨリ會議ヲ開キマス
質問ニ入ル前ニ一應政府委員ノ說明ヲ求メマス

○土岐政府委員 關東州ノ事業公債法案ニ付テ一通リ御説
明ヲ致シマス、此公債法案ハ目下工事中ノ第三期水道擴張
事業デ、殘タ部分ヲ公債ニ依ッテ工業ヲ進メテ行クト云フ

ノデアリマス、此關東州ノ大連ノ上水道ハ、元露國ガ租借當
時ニ經營シテ小規模ノ假設水道ガアリマシタガ、帝國ノ經
營ニ移リマシテカラ、明治三十九年ニ第一期ノ擴張工事ヲ

施シマシテ、工費百萬圓ヲ投ジテ沈澱池、濾過池ヲ新設シテ
給水量ヲ増シマシタガ、大連ノ發達ハ急速ノ進歩ヲ進ンデ
行キマスカラ、大正三年ニ第二期ノ擴張工事ガ起リマシ

タ、是ハ六箇年繼續事業、工費百八十一萬餘圓ヲ投ジマシ
テ、大キナ貯水池ヲ拵ヘマシタ、ソレハ大正八年ニ竣工シ、
給水量モ大分増加致シマシタガ、彼ノ時局以來、市街ガ著シ

ク發展ヲ來シマシタ爲メ、マダソレモ給水量不足ヲ見ル

ヤウナ次第ニナリマシタカラ、大正九年度カラ以降五箇年

ノ繼續事業トシテ、第三期擴張工事ヲ致シマシタ、既ニ九年

度、十年度ニ一般收入ヲ以テ施シテ來リマシタガ、十一年度

以降ハ財源窮乏ノ結果、其資源ノ公債ニ求メマシテ、工事ヲ

進メテ行カウトスルノデアリマス、而シテ此第三期擴張工

事ノ總工費ハ四百六十八萬三千三百八十圓デアリマシテ、其

中大正九年度ニ既ニ四十三萬三千五百圓ノ工事ヲ致シマシ

タ、大正十年度ハ百九十九萬二千四百九十五圓ノ工事ヲ致シ

マス、ソレデ十一年度以降三箇年間ニ三百五十五萬五千三百八

十五圓ノ工事費ヲ要スルノデアリマス、其年度額ハ別表ニ

記シテアリマス通り、十一年度ニ八百二十四萬三千八百九

十五圓、十二年度ニ八百九十五萬四千五百圓、十一年度ニ

八百七十八萬七千九百九十五圓デアリマシテ、此工事完成ノ

際ニハ、一日二萬噸以上ノ給水量ヲ得ル計畫ニナッテ居リマ

ス、以上大體ノ說明デゴザイマス

○山道委員 關東廳ノ公債ヲ御察リニナルト云フコトハ、

本年度カラ始メヤウデアリマスガ、今年ノ關東廳ノ豫算ヲ

拜見シマシテ私ハ非常ナル疑ヲ持ッテ居ルノデアリマス、殆

ト經常的ノ收入ガ乏シシクシテ、臨時ノ歳入デ以テ此案ガ出

來上ッテ居ルノデアリマスガ、斯ウ云フ豫算ハ一寸外ノ所デ

ハ見ルコトノ出來ナイ豫算デアルト考ヘテ居リマス、更ニ

又今年新ニ公債ヲ御募リニナルノデアリマスガ、斯ウ云フ

事ガ漸次ト今後出來テ來ヤシナイカト思ヒマスガ、之ニ對

シ、私ハ先ヅ此關東廳ノ財政ノ根本方針ヲ概略御説明ヲ願

ヒ、同時ニ公債償還ニ對スル御方針ヲ承リタイト思ヒマス

○土岐政府委員 御答致シマスガ、御承知ノ通り、關東廳ハ

猫ノ額ノヤウナ小サナ關東州ト云フモノヲ持ッテ、ソレデ以

テ收入ヲ得テ居リマシテ、其支出ハ皆ニ關東州内ノミナラ

ズ、滿鐵ノ沿線ハ勿論、進ンデハ滿蒙ノ内部ニ於ケル種々ノ

事業マデ保護獎勵シテ行カナケレバナラスヤウナ譯デゴザ

イマスカラシテ、到底自分ノ方ノ收入デ、自分ノ方ノ支出ヲ

賄ッテ行ク、所謂獨立自營ノ出來ナイコトハ略々御想像ノ付

クコトデアラウト思ヒマス、ソレデ他ノ臺灣トハ朝鮮トカ

云フ風ナ所ノ特別會計トハ違ヒマシテ、是ハ永久ニ政府ノ

補助ヲ受ケナケレバ何時迄經テマシテモ、獨立自營ノ出來

ナイコトノヤウニ思ハレルノデアリマス、隨テ政府ノ補助

金ハ是ハ臨時部ノ收入ニ屬シテ居リマス、經常ノ收入ノ少

イノハ是ハ已ムヲ得ナイコト、思ハレルノデアリマス、デ
關東廳ト致シマシテモ、政府ノ補助ハ何時マデモ貰ハナケ
レバナラズ、又時勢ノ進ムニ從ッテ増額ヲシテ貰ハナケレバ
ナラナイコト、思ッテ居リマス、而シテ此公債ノ償還財源ニ
至リマシテハ、幸ニシテ我ガ大連ノ市街ノ土地整理ノ結果、
賣却スベキ地面ガ澤山アルノデアリマス、ソレデ今度ノ此
事業公債ノ償還財源ト致シマシテモ、大連市街ノ整理ノ結
果、得マスル土地ハ二十萬四千九百五十坪、其豫定償額三百
九十五萬三千二百圓ト云フモノ、其償還財源ニ充テ、居
ルヤウナ譯デアリマシテ、此償還ハ右様ノ土地モアリ、又金
額モ多ウゴザイマスカラ、確實ニ償還ヲ遂行シ得ラル、モ
ノト考ヘテ居リマス

○神野政府委員 關東廳ニ對シマシテ、補給金ヲ永續スル

ト云フコトヲ約束シテ譯デハアリマセマスガ、唯關東州ノ現

狀カラ見テ、一兩年ニシテ補給金ヲ斷テシマフト云フコト

ハ出來マイカト考ヘテ居リマス、併シ尙ホ年々逐ウテ段々

之ヲ増加シテ行クト云フコトハ考ヘテ居リマセマス、唯其時

ノ狀況ニ應ジテ、已ムヲ得ズ増加シナイトモ限リマセマスガ、

併シ大藏省當局トシマシテハ、成ベク増加シタクナイト考

ヘテ居リマス

○山道委員 甚ダドウモ心許ナイヤウナ感ジガアリマス

ガ、私ハ又ソレニ付テ非常ニ疑ヲ起サナケレバナラス事ガ

アルノデス、昨年ノ阿片事件ガ起リマシタトキニ、今ノ宮崎

縣知事ヲシテ居ラレマス杉山四郎氏ガ、證人トシテ豫審

廷ヘ出マシテ、確カ五月十七日ト思ヒマス、其豫審廷デ證人

トシテ、杉山君ガ供述シテ居ラレル所ヲ見マスルト、關東廳

ニ於テハ其特許料ト云フノガ、阿片ノ特許料ヲ地方費雜收

入ニ編入シテ居リマス、關東廳ノ費用ニ付キマシテハ、議會

ノ協賛ヲ經ベキモノト、協賛ヲ經テ其地方ノ事業費ニ充ツ

ル爲ニ長官限リ訓令ノ形式ヲ以テ豫算ヲ定メ之ヲ公布スル

モノデアリマス云フコトノ供述シテ居ラレマス、サウ

シマスト、是ハ少シク時間ガ掛リマスカラ長クハ申シマセ
スガ、現在ノ顯官デアル一政府ノ大官ガ言ッテ居ラレル所ヲ
見マスル、年額千五百萬圓カラノ阿片ノ收入ガアツタヤウ
ニ述ベラレテ居ル點モゴザイマス、併シ議會ノ協賛ヲ經テ
居リマス、ハ一番多イトキハ七百萬圓ノコソ、モノデア
リマス、サウシマスト杉山君ガ言ッテ居ラレマス事ハ、證人
トシテ、アリマスカラ間違ッタコトデアリマス、マイガ、長
官限リノモノト云フモノ、ガ、年ニ何百萬圓ト云フモノ、ガ關
東廳ニハ支出ガアツタヤウニ思フノデアリマス、或ハ阿片賣
上代金ガ少カッタガ、取締御履行トデモ云フヤウナコトニナ
ッタカノ結果、本年ナドハ新ニ公債ヲ御募リニナラナケレバ
ナラスト云フコトニナッタノデアリマス、又今ノ所デ見マ
スルト、關東廳ノ方デハ將來益、増額ヲ求メナケレバナラ
スト云フ御話デ、大藏省ハ已ムヲ得ナイトキハスルカモ知
レマセスケレドモ、今ソノ事ハ分ラナイノミナラズ、補給
金ノ繼續モ二三年位ノ積リデ居ルト云フヤウナ御話ニナ
テ居リマス、何ダカ關東廳ノ財政ノ隱レタ所ニハ、誠ニ
諒解出來ヌモノガアリマシテ、四五年先キノ財政ガドウナ
ルダラウト云フハ非常ナ疑ハ懷キマスガ、先ヅ私ハ第一
ニ御答ヲ求メタイノハ此杉山君ノ言ハレマシタ議會ノ協賛
ヲ經ナイト云フ地方費ノ支出方ト云フモノガアリマシテ、
其アリマシタ金額ガ一體ノ位ニ上ッテ居ルノデアリマス
カ、又ソレガ今年ハ無クナッタ爲ニ、此公債ニ依ラナケレバ
ナラスト云フコトガ出テ來タノデアリマス、此豫算ニ關
係ガアリマスカラ、此二點ノ御説明ヲ願ヒタイ

○土岐政府委員 御答致シマスガ、關東廳ニハ特別會計ト
ソレカラ地方費ト豫算方兩様ニナッテ居リマス、而シテ此特
別會計ノ方ハ年々議會ノ協賛ヲ經ルコトニナッテ居リマス、
地方費ノ方ハ、帝國議會ノ協賛ヲ經テ居リマセ、而シテ地
方費ノ豫算ハ年々依ッテ多少ノ異動ガゴザイマスガ、大正九
年度ノ決算ヲ見マスルト、此數年ノヲ申上ゲマセウ、
年々五六百萬圓、多イトキニハ七百萬圓許リノ收支計算ニ
テナッテ居リマス、而シテ其内阿片ノ拂下料ト申シマスル
ハ、先刻御述ニナリマシタヤウニ千五百萬圓ト云フ、ソノ大キ
ナ金額ニハ上ッテ居リマス、中ニ含マレテ居ルノデアリマス、
シテ、特許料ト云フモノ、ハ必シモ阿片許リデハアリマセ、外ニ
其特許料ト云フモノ、ハ必シモ阿片許リデハアリマセ、外ニ
取引ノ免許ノ料金ナドモ含シテ居リマスガ、ソレヲ入レ
マシテ、大正六年度ニ於テハ二百八十八萬圓、七年度ニ於テ
ハ三百六十八萬圓、八年度ハズツト下ッテ七十一萬圓、九年度
ハ三百三十萬圓、十年度ハ是ハ見込デスガ七十萬圓ト云フ
風ナ金額デアリマシテ、サウ大キナ金額ニハ上ッテ居リマセ
ヌ、而シテ此地方費ノ支出ノ主ナルモノハ、會村ノ事務、即

チ内地デ申シマスルト町村、ソレカラ教育ノ小學校、日本人
ノ子供ヲ教ヘル小學校、支那人ノ子供ヲ教ヘル小學校ノ師
範學堂、サウ云フ教育費、ソレカラ勸業費、農事試驗場トカ、
水産試驗場トカ、蠶業試驗場トカ、種畜場トカ、内地デモ府
縣費デ支辨スルヤウナ地方ノ勸業費、ソレカラ衛生費、病院
トカ、内地デ申ス驅逐院、或ハ避病院、種痘費、傳染病豫防
費、獸疫豫防費ト云フヤウナモノ、ソレカラ營造物トシマシ
テ、博物館ノ記念品陳列所、或ハ公園、火葬場ト云フヤウナ
モノ、ソレカラ教育費、消防費、或ハ土木費、サウ云フ種類ノ
内地デモ地方費デ支辨シテ行クヤウナ種類ノモノヲ、地方
費ノ收入ヲ以テ支出シテ居ルノデアリマス

多分間違デアラウト思ヒマス、是ハ附加ヘテ申上ゲテ置キ
マス、ソレカラ關東州ニ於ケル郵便貯金——低利資金ノ方
ノ振當方ニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、是ハ大約大藏省
ノ方デハ、預金總額ノ約半額ヲ關東州ヘ低利資金トシテ廻
サウト云フ御内意デアアルモノ、ヤウニ想像シテ居ルノデア
リマス、ソレデ大連ノ聖德會ノ家屋建築ノ爲ニ、二百萬圓ノ
低利資金ヲ融通シテ下サイマシタトキノ貯金總額ハ約四百
萬圓デアツタ、其後預金額ガ増加致シマシテ、六百萬圓許リ
ニ達シマシタカラ、今度更ニ大連市ノ土地買收費ノ中ヘ百
萬圓許リ低利資金ヲ融通シヤウト云フ御内意ガアルヤウニ
承知シテ居ルノデアリマス、是ハマダ決定サレタ譯デハナカ
ラウト思ヒマスガ、市長ガ大藏省ヘ行ッテ段々御願シテ略
ソノ風ノコトニナルデアラウト云フヤウニ傳承シテ居リ
マス、ソレデ今後矢張預金額ガ増加スルニ從ッテ其半額ニ
相當スル所ノ低利資金ノ融通ヲ受ケ得ル見込デアリマス、
ソレハ内地ニ於キマシテモ各府縣ニ於ケル郵便貯金ノ、元
ト有ツタ額ヨリカ増加シタ部分ニ付テハ、約半額ヲ其地方ヘ
廻サウト云フヤウナ大藏省ト内務省ト協議ガ當デアリマシ
テ、其當時大藏次官ト内務次官ト連名デ、各府縣ヘ通牒サレ
タ事モゴザイマシタ、其後ノ實績ヲ見マス、中ノ内地デモ
半分ハ廻シテ呉レマセ、半分ハ愚カ三分ノ一モ四分ノ一
モ廻シテ呉レマセ、マダ關東州ノ方ハ割合多ク廻シテ呉
レテ居ルヤウナ、實況デアリマス、關東廳ト致シマシテハ、
勿論多イ程結構デゴザイマスカラ、尙ホ是レ以上大藏省ノ
方ヘ御願シテ、所ベク多クノ融通ヲ仰ギタイトハ思ッテ居リ
マスガ、現在ノ所、先ヅ大藏省デハ約半額ガ廻サウト云
フヤウナ内意ノヤウニ承テ居リマス

○山道委員 余ハ餘リ滿洲ノ方ノ事ヲ能ク存ジマセスケレ
ドモ、一體滿洲ニ居リマス人達ハ、總テ資金ノ供給ヲ仰グ
コトガ十分デナイ爲ニ、非常ナ苦シイ状態ニ陥ッテ居ルヤウ
デアリマス、私此一二年前ニ彼ノ地ニ參リマシテ見マス
ニ、今カラ四五年前マデハ彼ノ地ヘ行キマシテ、日本人ガ共
喰フスルト云フヤウナ事ヲ大分非難シテ居ッタノデアリマ
スガ、此頃ニナルト、其喰モ出來ナクナッテ居ッタノ日本人
ノ店デ日本人ハ物ヲ買ハナイヤウナ有様ニナッテ居ル、寧ロ
支那人カ臺灣人ナドカラ買ッタイヤウナ安イノデ、結局今デハ日
本人ハ共喰モ出來ナイト云フヤウナ變手古ナ状態ニナッ
テ居リマスガ、是ハ全ク滿洲關東州アタリニ居リマス人達ニ
對スル低利資金ノ融通ガ出來ナイ爲ニ、非常ニ高利ノ金ヲ
借りテ日本人式ノ生活ヲシテ、日本人流ノ商賣ヲシテ居ル
ト云フコトハ、日本人ノ自身反省シナケレバナラヌ點モア
リマスガ、矢張資金ノ供給ガ潤澤デナイ、低利ノ資金ガ借リ
ラレナイト云フ事ガ多ク原因シテ居ルヤウデアリマス、ソ

○山道委員 只今御説明ノ數字ニ對シテ、私大變疑ヲ持
テ居リマスガ、是ハ此場合此案ト直接關係ガアリマセスカ
ラ、他日ノ場合ニ譲リマスガ、私一言御尋シテ置キタイノハ
古賀廉造君ガ被告トシテ豫審廷デ述ベテ居ラレル所ヲ見マ
スト、大正八年二月頃、宮尾關東廳長官上京シ、私ニ對シテ
阿片賣上ノ利益ハ關東廳地方費ノ財源トシテ、若シ之ヲ全
廢スルトキハ千五百萬圓餘ノ財源ヲ失ヒ、是マデ著手シタ
ル事業ヲ全廢セネバナラヌ運命ニ至ルコト故ニ、此點ヲ對
酌シテ吳レトノ事ヲ申出デタルヲ以テ、一面之ヲ斟酌シ、決
定シテ發表シタ次第デアリマス、云フ事ヲ豫審廷デ明ニ
述ベテ居リマス、即チ其中ニハ千五百萬圓餘ノ財源ト云フ
コトヲ宮尾君ガ言ッタト云フコトヲ言ッテ居ラレマス、併シ
サウ云フ金ガ無イト云フコトデ、ソレハ私ハ此處デ強テ追
窮シヤウトハ思ヒマセ、サウ云フ御説明ノ如ク、大正五
六年カラ七八年ニ掛ケテノ阿片收入ニ對スル數字ノ御報告
ハ私ハ非常ナ疑ヲ持ツモノガアリマスカラ、併セテ此事ハ
申シテ置キマスガ、再應其係ノ人ニ御下命ニナッテ、御取調
ベ下サランコトヲ御願シテ置キマス、是ハ他日ノ機會ニ御
尋スルコトガアラウカト思ヒマス、ソレデ御伺シタイノハ、
關東廳ニハ、在留民ノ貯金ガ六百萬圓カラニ上ッテ居ル管デア
リマス、其中二百萬圓許リハ聖德會ノ住宅建築ニ、他ノ手續
ニ依ッテ御貸下ニナッテ居リマスガ關東州ニ居リマス在留民
ノ貯金ハ、殆ド三分ノ二カラノ貯金ハ、内地ニ御引揚ニナッ
テ居ルヤウデアリマスガ、是ハ一體關東州内ニ於ケル在留
民ノ郵便貯金ナドト云フモノハ、矢張關東州ニ於ケル仕事
ニ御振當ニナル方ガ當然デハナイカト云フ考ヲ持ッテ居リ
マス、矢張是ハ將來トモ主トシテ内地ニ御引揚ニナル積リ
デアリマスカ伺ヒタイ

○土岐政府委員 只今御話ノ前ノ阿片收入ニ付キマシテハ
是ハ調査ノ結果、斯ウ云フ數字ガ現レテ居リマス、ソレ
ハモウ更ニ調査ヲ要セズシテ明カデアラウト思ヒマス、其
古賀氏ナリ杉山氏ナリ、宮尾氏カラ聞イタカ云フ風ノハ、

多分間違デアラウト思ヒマス、是ハ附加ヘテ申上ゲテ置キ
マス、ソレカラ關東州ニ於ケル郵便貯金——低利資金ノ方
ノ振當方ニ付テノ御尋デゴザイマシタガ、是ハ大約大藏省
ノ方デハ、預金總額ノ約半額ヲ關東州ヘ低利資金トシテ廻
サウト云フ御内意デアアルモノ、ヤウニ想像シテ居ルノデア
リマス、ソレデ大連ノ聖德會ノ家屋建築ノ爲ニ、二百萬圓ノ
低利資金ヲ融通シテ下サイマシタトキノ貯金總額ハ約四百
萬圓デアツタ、其後預金額ガ増加致シマシテ、六百萬圓許リ
ニ達シマシタカラ、今度更ニ大連市ノ土地買收費ノ中ヘ百
萬圓許リ低利資金ヲ融通シヤウト云フ御内意ガアルヤウニ
承知シテ居ルノデアリマス、是ハマダ決定サレタ譯デハナカ
ラウト思ヒマスガ、市長ガ大藏省ヘ行ッテ段々御願シテ略
ソノ風ノコトニナルデアラウト云フヤウニ傳承シテ居リ
マス、ソレデ今後矢張預金額ガ増加スルニ從ッテ其半額ニ
相當スル所ノ低利資金ノ融通ヲ受ケ得ル見込デアリマス、
ソレハ内地ニ於キマシテモ各府縣ニ於ケル郵便貯金ノ、元
ト有ツタ額ヨリカ増加シタ部分ニ付テハ、約半額ヲ其地方ヘ
廻サウト云フヤウナ大藏省ト内務省ト協議ガ當デアリマシ
テ、其當時大藏次官ト内務次官ト連名デ、各府縣ヘ通牒サレ
タ事モゴザイマシタ、其後ノ實績ヲ見マス、中ノ内地デモ
半分ハ廻シテ呉レマセ、半分ハ愚カ三分ノ一モ四分ノ一
モ廻シテ呉レマセ、マダ關東州ノ方ハ割合多ク廻シテ呉
レテ居ルヤウナ、實況デアリマス、關東廳ト致シマシテハ、
勿論多イ程結構デゴザイマスカラ、尙ホ是レ以上大藏省ノ
方ヘ御願シテ、所ベク多クノ融通ヲ仰ギタイトハ思ッテ居リ
マスガ、現在ノ所、先ヅ大藏省デハ約半額ガ廻サウト云
フヤウナ内意ノヤウニ承テ居リマス

レハ單ニ關東州ニ居リマス人ノ爲ノミナラズ、日本ノ國家ノ爲カラ申シマシテモ、非常ニ將來憂フベキ事ノヤウニ私ハ考ヘテ居リマスガ今關東州——マア一口ニ滿洲ト云フ方ガ宜イノデアリマセウガ、滿洲ノ方ノ事ヲ考ヘマス、是マデ何カ三頭政治トカ、四頭政治ト云フヤウナ事ヲ言フ、能ク政治上ノ問題ニ非難サレテ居リマシタガ、其四頭政治ト云フヤウナモノガ、又復活シタヤウナ傾向ヲ來シテ居ル所ヘ、近頃金建、銀建ノ問題ニ付テ、又茲ニ二ツノ頭目ガ現レテ來テ、所謂金派ヲ代表スル朝鮮銀行、銀派ヲ代表スル正金銀行ト云フ二ツノ巨頭ガ現レテ滿洲ハ今ヤ六頭政治ノヤウナ狀態ニ陥ッテ居リマス、全ク實業家トカ云フヤウナ者ニナルト、明ニ金建派、銀建派ト云フヤウナ黨派ヲ立テ、非常ニ爭ッテ居ルト云フコトハ、是マデハ三頭政治トカ、四頭政治トカ云フテモ、政治上ノ事デアリマシタカラ、之ヲ止メルノニ相當ナ方法ガアッタノデアリマセウ、又將來モ有リ得ヤウト思ヒマスガ、經濟的ニ斯様ナ惡化ヲ來ス事ニナリマシタ、容易ニ是ハ、元ニ戻スト云フコトハムツカシクナリハアリマセウガ、此點ニ付テ私ハ非常ニ遺憾ニ思ッテ居リマス、二、三御答辯ヲ願フテ置キタイ事ガアリマス、先ヅ第一ニ、私御願シテ見タイハ、先刻私申シタヤウナ點デアリマスガ、大藏省ノ當局者ハ滿洲ニ於ケル企業資金、營業資金ナドノ供給ヲシマスル——中央銀行ト云フコトヲ語弊ガアリマスケレドモ、一種ノ中心トナルベキ銀行、金融機關ヲ御造リニナルト云フヤウナ御考ハナイノデアリマスガ、又サウ云フモノヲ御造リニナルトシマスレバ、ソレニ對シテ債金ナドノ發行ヲ御許シニナッテ、其金ヲ集メテ放資スルト云フヤウナコトハ、極ク適當ノコトノヤウニ私共ハ思ヒマスガ内閣ノ——政府ニ於テハサウ云フコトヲ曾テ御考ニナッタクコトハアリマセウガ、又サウ云フヤウナ多少デモ御考ヲ御持チニナッテ居リマスカドウカラ先ヅ聞キタイ、ソレカラ前申シマシタ如ク奇妙ナ此經濟的ノ惡化ヲ來シテ居ルト云フコトハ、結局平たい言葉デ申シマスレバ、正金銀行ニハ銀券ノ發行ヲ許シ、朝鮮銀行ニハ金券ノ發行ヲ許サレマシタカラ、兩銀行ノ利害關係カラ今日ノヤウナ事情ヲ惹起シタクコトガ多カラウト思ヒマス、何モ金建デナクチヤナラストカ、銀建デナケレバナラスト云フコトハナイ、兩銀行ガ自分ノ利害關係カラ斯ウ云フ經濟上ノ惡化ヲ來シタ、正金銀行ノ銀券ノ兌換券ハ、是カラ先キサウ兌換ガ出來ヌ爲ニ正金ノ銀券ナント云フモノハ頗ル兌換ノ準備ガ不安心ナモノダト云フコトヲ言觸ラス者ガアル、一方ニハ朝鮮銀行ノ金券ハ結局不換紙幣同様デアルト云フヤウナコトヲ支那人ニ言觸ラサシテ、兩方カラシテ互ニ傷ケ合ハシテ居ル、是ハ結局帝國ノ

不名譽不利益ヲ來シテ居ルノデ、一體金建トカ銀建トカ云フヤウナコトハ、騒ガヌデモドチラデモ宜イコトニ騷動ヲ惹起シテ居リマス、此問題ガ解決シマシテモ斯ノ如キ禍ガ永久ニ滿洲方面ニ遺ッテ、將來憂フベキコトガ引續イテ起ルグラウト思ヒマス、モウ一ツ御尋シテ大藏省當局者カラ御答ヲ願ヒタイ、關東廳ノヤリ方ニ付テハ本會議デ質問スルカラ聞ヒマセウ、一體大藏省——政府ハ關東廳ニ對シテハ、金建ノ實行ヲスルヤウニ御命令ニナッテ、サウシテ一方デ大藏省ノ監督シテ居ル特殊銀行、正金銀行ノ頭取、正金銀行ノ支店長ト云フ者ハ有ラヌル文書ヲ發行シタリ又ハ有ル運動ヲ行ッテ、實施ニ一種ノ妨害ヲシテ居ル、一方ハ直屬ノ官廳ニ金建ヲ命ジテ一方ニ於テハ政府ノ特殊銀行、正金銀行ガ盛ニ反對ヲシテ居ル、實施以前ナラバ意見ヲ述ベルコトハ差支アリマセウガ、實際ニ政策ヲ行ッテ居ル際ニ、頭取ガ斯様ナ文書ヲ發スル、サウシテ支店長ナント云フ者ガ、盛ニ妨害ヲヤデ居リマスガ、政府ハサウ云フ事ハナイト云フコトヲ言ヒマスガ、本會議デ質問シヤウト思ヒマスガ、其中ニハ支店長ニ巡查ヲ附ケタト云フコトデ結局運動シテ居ルト云フ事ハ政府自身ガ認メテ居ルト思フ、政府ノヤリ方ハ一方ニハ斯様ナ事ヲシ一方ニハ斯様ナ事ヲスル、ドウ云フ考デ斯様ナ事ヲシテ居ラレマスカ、特殊銀行ガ斯様ナ事ヲシテモ大藏省ハ將來トモ斯ウ云フコトハ抛ッテ御置キニナル積リノ問題ヲ惹起ス思ヒマス、今二頭カラ三頭、三頭カラ四頭政治ニナリ、愈々滿洲ハ何頭政治ニナルカ、十頭ニモ二十頭ニモナルト思ヒマス、サウ云フコトハ、矢張經濟界ニモ斯様ナ二頭三頭政治ガ出來ル、今ノ正金銀行ニ對スル政府ノ態度ヲ聲明シテ置イテ戴クト云フコトハ、將來滿洲ノ經濟ノ安定ヲ圖ルニ必要ナコトデアリマス、是ハ特ニ大藏次官ニ明ナル御答辯ヲ求メテ置キマス

○神野政府委員 滿洲ノ金融ニ付キマシテハ、大藏省トシテモ無論考慮ヲ拂ッテ居リマスガ、直接ニハ矢張此關東都督府ニ於テ、命令ヲ致シテ參ッテ居ルモノガ多イノデアリマス、只今御話ノ正金銀行ノ如キハ、無論大藏省ガ直接關係致シテ參リマスルガ、朝鮮銀行等ニナリマスルト云フコトハ、是ハ大藏省ノ直接監督ノ下ニ居ラヌノデアリマシテ、直接ニハ大藏省ガ朝鮮銀行ヲ指揮シ、ドウ云フ風ニサセヨト云フ事ハ今日デハ爲シ得難イ關係ニ在ルノデアリマスガ、ソレハ兎ニ角ト致シマシテ、此滿洲ノ金融ハ貿易ニ關シマシテハ、正金銀行ガ矢張金融ヲ致シテ居リマスガ、先ヅ主トシテ朝鮮銀行ガ特殊金融機關トシテ——外ニモアリマス、特殊金融機關トシテハ主トシテ朝鮮銀行ガ之ニ當ッテ參ッテ居ルト云フ今日マデノ現狀ニナッテ居リマス、ソレデ先刻御話

ガアリマシタ、低利資金ノヤウナモノヲ、大藏省カラハ矢張其滿洲ノ金融ニ資スル爲ニ、朝鮮銀行ニ低利資金ヲヤッテ居ル部分モ少クナイノデアリマス、朝鮮銀行ハソレ等竝ニ自分ノ資金ヲ以テ、出來ルダケ滿洲ノ金融ヲヤッテ居ルト云フ有様ニナッテ居リマス、ソコデ此正金ニハ銀券ヲ許シ、一面朝鮮銀行ハ金券ヲ出シテヤッテ、甚ダ不統一デアルト云フ御説ハ、一寸サウ云フ感ガナサルト云フコトハ、洵ニ御尤デアルト思ヒマス、思ヒマスルガ、朝鮮銀行ハ兎ニ角此金券ヲ發行シテ朝鮮並ニ滿洲等ノ金融ヲヤッテ行クト云フ責ヲ負ンデ居ル銀行デアリマスルノデ、朝鮮銀行トシテハ矢張金券ヲ以テ融通シテ參ラネバナラスト同時ニ、御承知ノ通り滿洲ハ少クモ此地方ニナリマスルト云フコト、矢張銀ノ使用ガ必要デアル、必要デアリマスカラ、一面ニ於テ正金銀行ガ、此銀券ヲ出シテ行カケレバナラスト地位ニモ居リマスルノデ、殊ニ此亞米利加ノ銀行等ガ近來彼ノ地ニ支店ヲ出シマシテ、矢張銀券ヲ出シテ金融ヲスルト云フヤウナコトガアリマスルカラ、正金銀行ガ銀ノ勘定ヲ開イテ、新ニ銀券ヲ出シテ、外國銀行ニ壓迫セラレナイヤウニ相當ニ活動ヲシテ往クト云フ必要モアリマス、出來得ルナラバ銀ナラ銀、金ナラ金デ統一ヲ致シテ往ケバ洵ニ都合ガ宜シイノデアリマスガ、支那ノ現狀等ニ鑑ミマシテ、ドウモ之ヲ今日直ニ何方カニ一極メテシマフコトハ參リ難イノデ、矢張相當ノ時日ヲ經テ、支那ニ於ケル貨幣ノ改革ガ進ムニ從ッテ漸ク追ッテソレニ順應シテ、我國モ亦貨幣ノ金銀等ニ付テ定メテ往カネバナラスト考ヘテ居リマス、ソレカラ金建銀建ニ付テ、正金銀行ガ政府ノ處置ニ對シテ頻ニ非難ヲスルト云フコトハ、是ハ特殊銀行トシテ政府ノ處置ニ對シテ非難ヲ加フルト云フコトハ穩當デナイ考ヘテ居リマス、ソレ故ニ支店長等ノ行爲ニ對シマシテハ、十分警戒ヲ加ヘマシテ、サウ云フ輕舉ノナイヤウニ戒メテアル次第デアリマス

○山道委員 私人今申上ゲタ事ハ、少シ私ノ言ヒヤウガ足ラナカッタガ、私ハ此銀券ヲ全然止メルト云フコトノミヲ言ッタノデアリナイノデ、矢張正金ニ許サレテ居リマスヤウニ金券モ銀券モ正金ガ發行シテ、事實差支ガナイ、ソレデ大正六年デスカ、寺内閣ノ時、金券ダケ朝鮮銀行ニ分ケテオシマヒニナッテ、二ツノ銀行ニナスツカライカス、今ノヤウニ正金ナラ正金、朝鮮銀行、新ニ銀行ガ出來レバ合一ナサレバコンナ詰ラスコトニ成行カヌグラウ、斯ウ實ハ思フ、全然銀券ヲ止メナケレバナラスト云フコトヲ申シタノデアリナカッタノデスカ、是ハ私ノ言ヒヤウガ足ラナクッテ左様ニ御聴キニナッタク知リマセウガ、私ノ言ウタノハ其意味デ、統一ナサルナラバ朝鮮銀行、正金銀行ニハ爲替ノ本務ガアリマス

カラ、ソレヲ事務ニヤラシテ、一方朝鮮銀行ナラ朝鮮銀行ノ如キ、或ハ新ニ滿洲勸業銀行ノ如キモノヲ作レバ、債券ヲ御許シニナッテ、其金ヲ滿洲ノ事業界ニ放資スル御考ハアリマセヌカト云フコトヲ御尋シタノデ、モウ一度其點ヲ伺ヒタ

○神野政府委員 一寸統一ト云フコトハ事實ムジカシクナイカト思ヒマスノハ、朝鮮銀行モ矢張滿洲デ爲替業務ヲシナケレバナラス、其他ノ銀行等モ致シ、正金銀行モ朝鮮銀行モヤルト云フコトハ、是ハ認メナケレバナリマセヌシ、又認メタ方宜シイノデアリマス、ソレデ朝鮮銀行ニ、例ヘバ銀券ノ發行モ許ス、正金銀行ニハ絕對ニ銀券發行ハ許サス、斯ウ云フ風ニナリマスレバ、御話ノヤウニ統一シテシマフノデアリマスガ、併シ正金銀行ガ彼ノ地ニ於テ爲替業務ヲヤルト云フ以上ハ、矢張銀勘定ヲ以テヤリマセヌト云フコト、其爲替事業ヲ十分ニ活動スル手段ニ於テ缺ケル所アルノデアリマス、朝鮮銀行ノ方ハ發行權ヲ持ッテ居テ、彼處デヤリマスカラ、先ヅ銀券ヲ出サナクテモソレデ濟ンデ往クノデアリマスガ、若シ正金銀行カラ銀券發行ヲ奪ッテシマフテ、朝鮮銀行許リニヤラセルト云フコトニナリマス、正金銀行ノ活動ト云フモノハ萎靡シテ出來ナイト云フヤウナ事ニナリマスカラ、矢張働カセル以上ハ、何カ手段ヲ與ヘテ十分働カセルコトガ必要デアルト考ヘテ居リマス、ソレナラバ朝鮮銀行、正金銀行ノ外ニ別ニ一ノ何カ新シイ機關ヲ拵ヘテヤルガ宜シイカト云フ問題ハ、是ハ別ニ今日考ヘテ居リマセヌ、正金銀行、朝鮮銀行等ガ出來得ルガ機能ヲ發揮シテヤリマスレバ、先ヅソレデ足りテ居ルコトデナイカト考ヘテ居リマス

○山道委員 先程カラ御答辯ニ依リマシテ、其先ハ意見ニナリマスカラ此處デ申ス必要ハアリマセヌ、先程ノ正金銀行ノ支店長ニ戒飾ヲ加ヘタト云フ御言明ヲ得マシテ甚ダ喜ビマス、ドウカ斯ウ云フコトハ正金ニ限リマセヌ、只今朝鮮銀行ハ朝鮮總督府ノ監督ノ下ニ在リマスカラ、大藏省カラ直接彼此レスルコトガ往カナケレバ、是ハ多少移管問題ニ付テモ御考慮ニナッテ居ルヤウニ承ッテ居ルカラ、サウ云フ監督權ニ付テ御處置ナサルコト、思ヒマスガ、實ハ今日忘レマシタガ、御參考マデニ書面ヲ此處ニ讀上ゲテ、御參考ニ供シテ置キタイト思ヒマシタガ、忘レマシタカラ讀上ゲテ御參考ニスルコトハ出來マセヌガ、其要旨ヲ申シマスレバ、哈爾濱ノ一人名ヲ申シマスノハ語弊ガアルカラ申シマセヌガ、哈爾濱ノ支那人デ有力ナ實業家及營口ノ實業家等、即チ東三省ノ實業家ガ張作霖ノ所ヘ召集サレ、昨年ノ十一月九日デアリマシタ、經濟問題ニ付テ協議シマシタトキ、其時ニ張作霖ノ處デ話ガアリ、其際一體日本ハ怪シカ

ラス、哈爾濱ニ於テ東三省銀行ガ二千萬圓ノ兌換準備ヲシテ、大洋票ヲ發行シタ、所ガ哈爾濱ニ於テ非常ナ大取付ヲシテ、吾々ノヤッテ居ル銀行ノ業務ヲ阻害シタト云フノデ、張作霖ヲ始メ官人ガ大分反對シタ、其際ニ東三省銀行ノ取付ヲ哈爾濱デサシタト云フ事ハ、支那人カウ言ヘバ日本人ノ所業ダト考ヘテ居リマスカラ、哈爾濱ノ商務總會ノ調ベタ結果、正金銀行ハ管テ滿洲ニ於テ大洋票ノ發行權ヲ支那政府ニ願フ事ガアル、ソレガ許サレタノデ、張作霖等ノ作、タ東三省銀行ニ對シ、其意趣暗シテ大取付ヲシタト云フコトヲ確メタト云フコトヲ、哈爾濱及營口ノ實業家カラ言ッテ來テ居ルノデアリマス、哈爾濱其他ノ有力ナ人達ハ非常ニ不快ナ觀念ヲ持ッテ居リマス一體銀券ヲ出ス事ノ善惡ハ意見ニ屬シマスカラ差控ヘマシテ、此支那人ニ疑惑ヲ懷カシメルヤウナ行ヲ政府ノ特殊銀行ガシタト云フコトニナレバ、日本政府ガ其尻押シシテ居ルト云フヤウナコトニナリマスノデ、餘程特殊銀行ニ對シテハ、謹慎ノ行動ヲ執ルヤウニシテ戴キマセヌト、滿洲ノ經濟界カラ非難ヲサレルコトニナルト思ヒマス、而モ日本ノ二三ノ銀行ノ利益ノ爲ニ、有ニル醜態ト言ヒマセウカ、最近ノ朝鮮銀行ノ集會ノ態ナドハ、事實ノ如何ニ拘ラズ、ア、云フコトガアッテ、ソレガ支那人ニ分ルト云フコトハ、日本ノ經濟上ノ信用ニモ大變關係スル、ソレガ皆政府直屬シテ監督シテ居ル特殊銀行ノ仕業デアハ、特殊銀行ガ其利益ノ爲ニハ、支那人ト一緒ニナッテモ構ハヌ、有ル事無イ事ヲ曝ケ出スト云フコトハ、實ニ言語道斷ト思フ、政府モ當局者ノ戒飾ヲ加ヘタト云フコトガ、政府ガ私ノ申シタコトニ御同意ノコト、ハ思ヒマスガ、政府ガ何カ是等ニ對シテ御方針一定ナラヌデ、今頃ニナッテ支店長ニ戒飾ヲ加ヘテ、轉任ヲ命ジタ所ガ追付カヌ話デアル、昨年四月十六日ノ閣議ノ席上デ、山縣長官ト大藏大臣ト總理大臣ト三人ガ寄ッテタカッテ、金建、銀建ニ付テゴタノ揉合ッテ末ニ、ソレヲ止メロト云フ電報ヲ打ッテ、今發表シタト云フ返電ガ來タ、ソレカラ大連カラ陳情委員ガ上ッテ來テ、隨ギ廻ッテ云フヤウナコトガアッテ、政府ノ大官ガ居留民ノ尻押シシテ、サウシテ金建ニ反對ヲスル、一方政府ノ特殊銀行ハ、寄ッテタカッテ政府ノ政策ニ反對ノ行動ニ出テ居ル、ソレナラバ體裁ナコトヲ滿洲デヤッタコトニ對シテ、今頃ニナッテ戒飾ヲ加ヘルト云フノハ實ニ遲イ、モウ一年モ以前ノ事デアアル、其間ノ醜態、私共ハ伏魔殿トカ百鬼夜行ナドト云フ言葉ヲ聞イテ居リマシタガ、滿洲ヘ行ッテ其伏魔殿トカ百鬼夜行ノ實際ヲ見ルヤウナ心地ガ致シマシタ、金建、銀建ノ爭ニ付テ——ドウカ過去ノ事ハ仕方アリマセヌケレドモ、斯様ナコトハ將來起ラスヤウニ、特別ノ御注意ヲ以テ御監督セレンコトヲ御願スルノデアリマス、ソレカラモウ少

シ御尋シテ置キタイ、是迄滿鐵ノ監督權ハ拓殖局ガ行使シテ居ッタ、所ガ之ヲ一昨年關東廳ニヤラスコトニナッテ、其際ニ樞密院デハ關東廳ニ十分ニ監督ヲシテ貰ヒタイガ、ソレガ出來ルカト訊イタ時、山縣長官ハ十分監督ヲ致シマスト明ニ言明サレテ居ル、ソレデ關東廳ニハ澤山ノ役人ヲ置イテ居ル、勅任級ノ人モ澤山居ル、ソレモ滿鐵ノヤウナ大キナ會社ヲ實際ニ監督スルニハ必要デアリマセウガ、其後ノ模様ヲ見マス、滿鐵ニ對スル監督權ハ十分行届イテ居ラスヤウニ思フ、是ハ人ガ足りマセヌ結果ト思ヒマスガ、一面カラ言フト折角關東廳デハ監督權ノ行使ヲシヤウト思フコトモ、東京ニ來ルト中央政府ニ對シテビク／＼シテ、十分ニ行カスト云フヤウナコトモアリハセヌカト思フガ、今監督權ノ行使ガ十分出來テ居ルカドウカ、先ヅ此點ヲ御說明ヲ求メマス

○土岐政府委員 滿鐵ノ監督ニ付キマシテ、從來遺憾ノ點ガ少クナカッタコトハ御話ノ通りデアリマス、ソレデ昨年官制モ改正シマスルシ、人モ大分増シマシタ、又監理官モ置イテ事前ニ滿鐵ヨリ關東廳ヘ相談ニ參リマシテハ、大キナ事柄ハ總テ事前ニ滿鐵ヨリ關東廳ヘ相談ニ參リマシテ、關東廳東廳ノ内諾ヲ得タ上デヤルコトニ進ニ來テ居リマス、唯極ク小サイ事ニ付キマシテハ、關東廳デハ昨年勅任官、奏任官等ノ一部ヲ増シマシタガ、判任官ハ來年度ニ於テ増ス計畫ニナッテ居リマスガ、手足トナルベキ判任官ガ不足致シテ居リマシタ爲ニ、極ク細目ニ耳マデ嚴重ニ監督ヲスルト云フ事ハ、目下ノ所事實不可能デアリマスガ、併シ是モ豫算ガ通りマシテ、官制モ改正サレ、判任官ノ増員ヲ見ル曉ニハ、漸次出來ルダケノ監督ヲ致シタイト考ヘテ居リマス併シサウ致シマシタ所ガ、何分大キナ會社ニナリマス、各方面ニ亙ッテ種々ノ事業ヲ致シテ居リマスシ、又投資ノ額モ甚ダ多イモノデアリマスカラ、澤山ノ人ヲ使ッテ居リマシテモ、到底之ヲ完全ニ監督スルコトハ、何時迄經ッテモ出來ナイ話デハナカラウカト思ヒマス、只大綱、大キナ事ニ付キマシテハ、前年來問題ニナッタヤウナ事柄ノ起ラスヤウニ重要ナ事項ハ、重役會議ニ掛ケルヤウナ大キナ事柄ニ付テハ關滿ニ進ンデ行キタイ考デアリマシテ、目下ノ所滿鐵ト關東廳トノ間ハ關滿デアリマス、三頭政治トガ、四頭政治トカ云フ御話モアリマシタガ、ソレハ既ニ過去ノコトデアリマシテ、今日ニ於テハ極テ圓滿ニ滿鐵ハ關東廳ノ監督ヲ受ケテ關東廳ノ方針ニ從ヒ、其意ヲ受ケテ事業ヲ進メテ居リマス

○山道委員 細目ニ亙ッテノ監督ノコトハ御察シ申シマスガ、實ハ大綱ヲ統ベル上ニ於テノ御監督ガ、十分出來テ居ルカドウカ疑ナキヲ得ナイノデアリマス、金建ノ問題ニ付キ

マシテモ、奉天ノ總領事等ハ明ニ關東廳ト違フ方針ヲ執
テ居ルヲヤウデアリマスガ、是ハ別ト致シマシテ滿鐵
ニ付テ御尋ラシタイノデアリマス、關東廳ハ滿鐵ヲ監
督シテ居ラレルノデアルガ、其滿鐵ノ副總裁ノ松本君、今ハ
重役ニナッテ居ル大倉君等ハ、堂々ト金建ニ反對ノ主張ヲサ
レテ居ル、是デハ少シモ大綱ニ對シテ御監督ガ出來テ居ラ
スト思ヒマスガ、是ナドハドウ云フ御方針デアリマスガ、ソ
ノ事ハ監督シナイデモ宜イトカ、關東廳ガ政府ノ命ヲ受
ケテヤッテ居ル金建問題ニ對シテ、特殊會社デアル所ノ、政
府ノ監督サレテ居ル所ノ會社ノ重役ガ盛ニ反對ノ行動ヲ
執ッテ居ルト云フコトハ、是バドウ云フ譯デアリマスガ、一
應其經過ヲ伺ヒマス

○土岐政府委員 ソレハ昨年ノマダ大分早イ時期デアッ
ヤウニ思ヒマス、滿鐵ノ副社長ナリ、課長ナリガ、個人トシ
テサウ云フ意思ヲ發表サレタカモ知レマセヌ、併ナガラ早
川社長ガ就任以來、關東廳長官ト懇談ノ結果、サウ云フ事ガ
社員ト云フコトデ、其以來社長初メ社員一人モ、建值問題ニ
付テハ意見ヲ公表シタ者ハアリマセヌ、一時サウ云フコト
ガアツカモ知レマセヌガ、ソレハ昨年ノ春頃デアツカ思
ヒマス、關東廳ガ滿鐵ノ監督ヲ嚴重ニ行使シ出シテカラハ、
サウ云フコトハアリマセヌ

○山道委員 成程サウ云フ事ガアツテハナリマセヌ、是ハ一
例トシテ建值問題ヲ申上ゲタノデス、斯ウ云フコトハ大藏
當局ノ方ニ望ミダト同様ノ意味ニ於テ、一層ノ御注意ヲ願
ヒタウゴザイマス、ソレカラ滿鐵ノコトニ付キマシテ、尙四
五箇條アリマスカラ、時間ヲ省ク爲ニ一絡ニ申上ゲマスカ
ラ、御記憶ニナッテ御答辯ヲ願ヒマス、滿鐵ノ一番厄介ニナ
テ居ルノハ、鞍山站ノ製鐵事業デアルト思ヒマス、是ハ損失
額ノ數ガ御分リニナッテ居レバ、過去ニ於テドノ位損シテ居
ルカ、又將來何時マデ經テタラ何トカ目算付クデアリマセ
ウカ、凡ソノ御計畫ガアリマスカ、又損害ヲ填補スル御見込
ガアリマセウカ、更ニ今日ノヤウニ軍備縮少ノ聲ガ海軍ニ
モ陸軍ニモ盛ニ起ッテ居ル、殊ニ華府會議ノ結果ハ、マダ批
准ニナリマセヌガ、大體ニ於テ海軍縮少ハ分ッテ居ル、海軍
擴張ノ場合ニハ製鐵事業ハ國家事業トシテ多少ノ損失ヲシ
テモ已ムヲ得ナイカ知レマセヌガ、今日ノ如ク海軍縮小ノ
聲ノ盛ナ時代ニ年々何十萬圓モ何百萬圓モ損ヲシツ、此
事業ヲ續ケル御考デアリマスカ、或ハ適當ノ時機ニ之ヲ廢
スル御考ハナイデアリマセウカ、是ガ第一問、其次ニハ滿鐵
ガ年額一千万圓餘ノ金ヲ出シテ附屬ノ事業ヲヤッテ居リマ
スガ、教育ノコトモヤッテ居ル、將來此教育費ニハ困ル事ハ
ナイデアリマセウカ、今ノ鞍山站ノ如キモ、澤山ノ損失ヲス

ルヤウニナッテ居リマスガ、滿鐵ノ收入ヲ得ル途ト云ヘバ、
貨物ノ運賃ト乗客ノ賃金ト、鑛山ヨリ外ニハナカラウト思
フ、他ノ營業ヲシテ居ルモノ澤山ノ失費ガ要ルカラ、主ナル
モノハ鑛山ノ收入ト、鐵道ノ收入デアラウト思フ、併シ今日
以上ニ賃金ヲ上ゲルコトハ出來マスマイ、ソレカラ鑛山ニ
シテモ、此不景氣ノ場合、非常ナ石炭ノ滞貨ガアルト云フヤ
ウナ次第デアルカラ、此方面カラモ澤山ノ收入ヲ得ルコト
ハ出來ナイト思フ、サウスルト滿鐵ハ將來教育費等ニ對シ
テ困リハセヌカト思フ、此等ノ方面ニ對スル將來ノ御考ハ
ドウデアルカ、是ガ第二、ソレカラハ少シ意見ニナリマス
ガ、先ヅ此際滿鐵ヲ救済スベキ方法トシテハ、支線ト云フ
カ、營養線ト云フカ、是ハ借入デモ何デモ宜イ、滿鐵ニ於ケ
ル鐵道ノ支線ニ對シテ經營ガ旨ク行ケバ相當ノ收入ガ得ラ
レヤウト思フ、ソレニ對シテハ如何ナル御考デアルカ、又其
御計畫ガアルナラバ伺ヒタイ、是ガ第三、第四ニハ滿鐵ハ
ドウシテモ將來哈爾濱ヲ、俗ノ言葉シ言ヘバ哈爾濱ヲ中心
トシテ第一松花江邊マデ「コンパス」ヲ伸バシテ、ソレヲ直
線トシテ圓形ヲ描イタ位ノ所ガ北滿鐵ノ一番ノ寶庫デアリ
マセウ、此北滿鐵ノ寶庫ノ特産品ヲ滿鐵ニ吸收スルコトガ、
是ハ滿鐵ニ取ッテモ、國家ニ取ッテモ、必要デアル、所ガ此北滿
ノ豐富ノ特産品ハ東支線ニ取ラレレ向カアル、ソレヲ取
ラレナイヤウニスルコトニ付テ滿鐵ハ何等カノ計畫ヲ立テ
テ居リマスカ、ソレハドノ位進行シテ居リマスカ、尤モ
ソレニ付テハ多少國際的ノ關係モアリマセウカラ、公然御
話ガ出來ナケレバ秘密會デモ宜イウゴザイマス、何カソレ
ニ對スル御計畫ガアリマスカ、ソレカラ滿鐵ハ東支線鐵道
ニ對シテ、盛ニ石炭ヲ賣付ケテ居ル、其金ハ拂ッテナイ、滿鐵
ハサナキダニ收入ガナイニ、貸シテ居ル、全部貸シタヤウ
ナ形ニナッテ居ルヤウデアリマス、之ニ付テハ昔デ「ロマン
フ」王朝ニ日本ガ金ヲ貸シタガ、其貸金ノ證書ハ奪ハレテシ
マッタヤウナコトガアリマスカ、此滿鐵ガ東支線鐵道ニ貸シ
タ石炭代モ、其ノ舞ヲ踏ムヤウナコトハ無イデアリマセ
ウカ、ソレニ對シテ政府ガ保障デモシテ居リマスカ、又ハ
ソレニ付テ何カ政府ト交渉シタコトガアリマスカ、若ク
ハ政府トハ交渉デヤッテ居ルノデアリマスガ、ソレダケ伺
ヒマス

○土岐政府委員 御答致シマスガ、鞍山站ノ製鐵所ニ付キ
マシテ、滿鐵ガ損害ヲ受ケタコトハ御話ノ通りデアリマス、
併シドレダケノ損害ヲ受ケタコト云フ正確ナル數字ハ只今
調べタモノヲ持ッテ居リマセヌカラ、御必要ナラバ調査ノ上
御答致シマス、其損失ヲ補填スル爲ニ滿鐵ニ於キマシテハ、
米國ノ技師ヲ招聘シテ種々ノ試驗ヲ行ヒマシタ結果、製産
費ヲ安クシ得ル見込ガ略々付イタノデアリマス、目下其試

驗中デアリマス、若シ其結果ガ豫期ノ通りニ參リマシタ
ラバ、將來一箇年ニ鉄鐵百萬噸、製品八十萬噸ヲ生産シ得ル
見込デアリマシテ、先ヅ熔鐵爐ニ基テ備付ケ鉄鐵年額十五
萬噸ヲ拵ヘルト云フ計畫ヲ立テマシテヤッテ居リマス、此計
畫ガ進ンデ行キマシタナラバ、將來相當ノ利益ヲ擧ゲ得ラ
レルト思フ、又鐵ノ價目下安ウゴザイマスガ、漸次恢復シ
テ來ルト云フ豫想ヲ持ッテ居リマスカラ、此事業ハヤハリ繼
續シテ進ンデ行ク積リニナッテ居リマス、第二ニ教育費ニ澤
山金ガ掛ルト云フ御話デアリマシタガ、是モ御説ノ通りニ
南滿醫學堂モ醫科大學ニ昇格シヤウト云フ計畫ニナッテ居
リ、ソレカラ大連ノ工業學校モ高等專門學校ニ直サウト云
フヤウナ計畫ニモナッテ居リマスカ、其他現今中等學校ナ
リ、諸學校モ漸次學級ヲ増加シテ行クト云フ必要ニ迫ラレ
テ來マスノデ、是モ御見込ノ通り將來教育費ハ大分膨大シ
ヤウト思ヒマス、隨テ其費用ニ充ツルガ爲ニ運賃ノ増額ナ
リ、石炭ノ採掘ヲ爲ストカ云フヤウナ既設ニ迫ラル、事モ
御説ノ通りデアリマス、併ナガラ教育費ノ増額モ、急激ニサ
ウ高ラ増スノデアリマセヌ、年々漸次數十萬圓ヲ増ス位
ノ事デアリマシテ、今日ノ滿鐵ノ經濟力中シマシレバ、將
來滿蒙内地ノ發展ト共ニ、培養線モ漸次出來テ參リマセウ
シ、貨物ノ輸送高モ多クナリマセウシ、石炭ノ採掘高モ多ク
ナリマセウシ、是ハ將來差支ナイ積リデアリマス、ソレカラ培
養線ニ付キマシテハ、略々御承知デゴザイマセウガ、吉會
線、四洮線、關海線、長洮線、洮熱線、海吉線、海港線、此線路
ヲ敷設スル見込ニナッテ居リマシテ吉會鐵道ニ付キマシテ
ハ、明治四十年ノ四月十五日ニ新奉及吉會鐵道ニ付キマシテ
約、ソレカラ明治四十二年ノ九月四日開島協約ニ依ッテ滿鐵
ガ出資權ヲ持ッテ居ル計畫シテ居ルノデアリマス、大正七
年六月十八日ニ支那政府ト日本ノ興業銀行、臺灣銀行、及朝
鮮銀行、此三銀行團トノ間ニ、借款豫備契約ヲ締結シマシテ、
其年ノ十二月ニ其豫備契約ニ基イテ支那政府ト銀行團トノ
間ニ、借款本契約ヲ締結スベク其交渉ガ始メタノデアリマ
ス、ソレデ日本ノ北京ニ居リマスル公使及滿鐵ガ其裏面ニ
於テ其交渉ニ參與シテ居リマス、サウ云フ風ニ進ンデ參リ
マシテ、大正八年ノ二月カラ十二月迄ノ間ニ十二回ノ交渉
會議ヲ開キマシタガ、小サナ所デ意見ノ一致ヲ見マセヌノ
デシタ、ソレハ運輸ト會計ト主任ヲ日本人カラ出サウト云フ
ノデスガ、向フハサウ云フ事デハ困ルト云フ風ナ小サナ事
柄ノ爲ニ一致ヲ見マセヌ、其間ニ段々支那デモ排日運動ガ
盛ニナッテ參リマシタ、又支那ノ内閣モ瓦解シタト云フヤ
ウナ故障ガ出來マシテ、姑ク此商議ヲ停止シテ、更ニ適當ナ
時期ニ於テ成ベク速ニ繼續商議スルト云フ事ニナッテ、一先
ヅ今日迄ノ交渉ヲ延期スルト云フ事ニ今ナッテ居ルノデア

リマス、ソレカラ大正十年ノ一月カラ、再ビ吉會鐵道ノ借款
本契約交渉ノ話方始リマシテ、昨年ノ四月銀行團ノ代表者
興業銀行副總裁小野英二郎氏ガ北京ニ行キマシテ、小幡公
使ノ援助ヲ得マシテ、支那政府ト折衝シテ居タルノデアリマ
スガ、昨年ノ五月ニ新內閣ガ改選サレマシテ、交通總長モ更
リマシタシ、其頃カラ吉林ヲ始メ各地ニ吉會鐵道借款反對
ノ運動ガ起リマシタ爲、其反對運動ノ爲ニ又交渉ガ暫ク中
止ノ姿ニナツテ居リマス、其他ノ鐵道ニ關シマシテモ大正二
年十月五日ノ借款大綱ニ依リマシテ、四洮、關海及長洮線ニ
對スル出資權及洮熱及海吉線ニ對スル出資優先權ヲ獲得シ
マテ——今迄中シマシタルハ滿蒙五鐵道ト言ヒマスルガ
正金銀行ヲシテ資金供給ノ任ニ當ラシムル事ニシマシタ
四鄭鐵道ハ正金銀行カラノ借款ニ依ツテ、大正六年ニ起工シ
テ其歲ニ竣工致シタルノデアリマス、其後四鄭鐵道其他ノ鐵
道ニ對シマシテハ、滿鐵ヲ資金ノ供給者トスルコトニシマ
シテ、滿鐵ノ方デハ爾來是等ノ鐵道ノ實現ニ付キマシテ畫策
致シテ居リマス、又大正八年ノ九月ニ、支那政府ト滿鐵トノ
間ニ四千五百萬圓ノ四洮鐵道借款契約ト云フ者ヲ締結シテ
居リマスルガ、四圍ノ狀況ガ公債發行ニ便利デナカッタカラ
シテ、大正九年三月一千万圓ノ四洮鐵道短期借款契約ト云
フモノヲ締結致シマシタ、是デ先ツ鄭家屯、ソレカラ白音
太來、其間ノ支線ヲ完成セシムル事ニ致シマシテ、大正十
年四月カラ工事ニ着手シテ、五月ニ前記ノ短期借款ヲ切換
ヘテ、千二百五十萬圓トシマシテ工事ヲ繼續致シ其年ノ末
ニ全線ガ竣工致シマシタ、尙ホ鄭家屯、洮南ノ間モ時機ヲ見
テ着手セシメタルノデアリマス、吉會線ト、匹遼線以外ノ諸
鐵道ニ付キマシテハ、大正七年九月ニ支那政府ト、前ニ申シ
マシタル銀行團トノ間ニ、滿蒙四鐵道即チ洮熱、長洮、開吉、
海港、此四鐵道ノ借款豫備契約ヲ締結致シマシテ、大正八年
ノ一月カラ其豫備契約ニ基イテ借款本契約締結ノ交渉ヲ始
メマシタ、吉會鐵道ノ借款本契約交渉ノ解決ヲ待テ此問題
ヲ審議スル筈デアリマシタガ、吉會ノ交渉ガ先ツ蹉跌致シ
マシタカラ、此交渉モ自然延期シマシテ、吉會鐵道借款契約
協定ノ後ニ適當ノ時機ニ於テ引續キ商議スルコト、シテ、
一先ツ延期ニ關スル往復文書ノ交換ヲ了シマシタ、其後大
正九年五月ニ梶原「ラモント」協定ニ依リマシテ洮熱、海
港二線ハ新借款團ニ讓渡サレタルコトニ決シマシテ、殘テ居
ルハ唯長洮、開吉、吉會線ノミトナツタノデアリマス、而シテ
是等ノ諸鐵道ハ今日總テガ經濟線デアルト云フコトハ言ヘ
マセスケレドモ、經濟的ノ發達ノ見込ノアルモノニ付キマ
シテハ、一日モ早ク本契約ヲ締結スルコトヲ希望スル次第
デアリマスガ、今日迄ノ經過カラ見マスルト、何時モ支那ハ
排日派ノ妨害ニ遭ツテ延々ニナツテ居ルノハ遺憾ナク次第デア

リマス、以上鐵道ニ關スル今日迄ノ經過ナリ計畫ノ大要ヲ
申上ガマシタソレカラ、哈爾濱ニ對スル南滿鐵道ノ計畫デア
リマスガ、是ハ今日ノ所御承知ノ通り極テ貧弱ナル滿鐵公
司ヲ哈爾濱ニ置イテアルダケニ過ギナイノデアリマスガ、
東支鐵道トノ關係ガ極テ密接デアリマス、ソレデ先達モ東
支鐵道ト度々協議ヲ重ネテ、滿鐵ノ社長モ哈爾濱ニ行キ、東
支鐵道監督其他ノ幹部ト協定シ又東支鐵道ノ幹部モ滿鐵ノ
本社ヲ訪ヒマシテ、種々相談致シマシタ、其後更ニ長春ニ於
テ會議ヲ開キマシテ、輸送上ニ付テ相談ヲ遂ゲタルノデア
リマス、サウ云フヤウニ兩鐵道共存ノ必要カラ五ニ胸襟ヲ
披イテ交渉ヲ進メテ居リマシテ、今デハ既ニ長春、哈爾濱ノ
各驛ヨリ、混合保管ノ制度モ實施スルコトニナツテ居ル、又
聯絡輸送ノ便ヲ増ス爲ニ、滿鐵ニ於テハ車輛ノ改造ニモ着
手シテ居ル、御五ノ利益ヲ増ス上ニ於テハ遺憾ナク協商ヲ
遂ゲテアルノデアリマス、唯東支鐵道ニ對スル金デアリマ
ス、石炭代モ賁テナイノハ事實デアリマス、尙ホ東支ノ方
カラハ多額ノ借款モ滿鐵ニ申込デ居リマスガ、是ハ今日
ノ所見合セテ居リマス、併シ東支ト滿鐵トハ非常ニ密接ナ
關係ガアリマスカラ、常ニ協商ヲシテ五ニ利益ヲ増スコト
ニ努メテ居ル次第、尙ホ併シ哈爾濱ニ付キマシテハ、表面東
支トノ協商ダケデハイケマセス、能ク此邊ノ實況ヲ調査シ、
東支トノ交渉ノ腹案ヲ決メナケレバナラス、將來發展ノ畫
策モ樹テナケレバナリマセスカラ、滿鐵ニ於テモ職制ヲ改
メマシテ、從來ノ理事、部長制度ヲ改メテ、部長ハ社長ヲ以
テ之ニ充テ、理事ハ全ク重役ノ職務ノミヲ行フト云フコト
ニシテ、餘程開ガ出來マシタカラ、將來ハ奉天ニモウ一人重
役ヲ置キ、哈爾濱ニモ一人重役ヲ派出スルト云フ風ニシテ
餘程哈爾濱ヲ重要視シ、之ニ重役ノ一人ヲ滞在セシメ其方
面ノ調査計畫ヲ樹テ、居ル次第デアリマス

○山道委員 東支鐵道ノ石炭代金ハ………
○土岐政府委員 ソレハマダ參リマセス、御承知ノ通り東
支鐵道ハ無配當ノ狀態デアリマシテ、經營費サヘ足リマセ
スカラ、石炭ハマダ回收ノ運ビニナツテ居リマセス
○山道委員 是ハ政府ト多少ノ諒解ヲ得テオヤリニナツタ
ノデアリマスカ
○土岐政府委員 其點ニ付テ詳シイ事ハ知リマセヌガ、政
府トノ諒解等ハ無カッタと思ツテ居ル、唯滿鐵ト東支トノ關
係デアリマス
○山道委員 回收ノ見込ガアリマスカ
○土岐政府委員 滿鐵トシテハ回收ノ見込アルモノト思ツ
テ居リマス、唯今後巨額ノ資金ヲ貸スト云フ事ハ今日ノ狀
態デハ考物デアルト云フノ見合セテ居リマスガ前ニ貸シ
タルハ左程巨額デアリマセヌカラ、漸次回收ノ見込アル

カト思ヒマス
○山道委員 政府トノ諒解ナシニ石炭代ヲ貸シタルコト云フ
トデスガ當テ政府ニ其事ヲ内交渉ヲ爲スツテ、政府カラサウ
云フ保證ハ出來ナイト拒絕サレタケレドモ滿鐵ノ一存デ
ヤッタト云フヤウニ巷間傳ヘテ居リマスガ、サウ云フ事ハア
リマセヌカ
○土岐政府委員 私ノ考デハ、政府ト格別諒解ハ無ク、タ
思ヒマス、尙ホ詳シイ事ハ他ノ政府委員カラ申上ゲテモ宜
シウゴザイマス
○澤委員 一寸此際委員各位ニ對シテ御注意致シマス、
段々拜聴致シマス、質問ノ範圍ガ廣汎ニ涉ツテ來テ居ルヤ
ヤウデアリマス、無論委員會ニ於ケル質問ノ範圍ハ何等規定
サレテ居リマセヌケレドモ、併ナガラ委員會ナルモノハ、御
承知ノ通り豫算委員會トハ違ヒ、又分科會トモ自ラ趣ヲ異
ニシテ居リマス、付議サレタル問題ハ簡單ニ規定サレテ居ル
ノデアリマス、廣汎ニ涉ルコトヲ必ズシモ止メハ致シマセ
スケレドモ、甚シク法案ニ遠カラヌ程度ニ於テ、成ベク此法
案ヲ離レズ少クモ附近位ノ程度ニ於テ御質問アラシコト
ヲ希望致シマス、サウ致シマセヌ、豫算總會又ハ分科會ト
重複シテ、無用ノ時間ヲ費サナケレバナリマセヌカラ御如
才モイデセウガ、御注意ヲ願ツテ置キマス

○山道委員 最後ニ一口ダケ大藏當局ニ御尋致シマス、今
ノ石炭代ノ事ニ付テハ、サウ云フ事ノ御交渉ヲ受ケタコト
ハ全然アリマセヌガ、ソレカラモウ一ツ金建ノ問題ニ付テ
ハ、銀建ノ復活トカ兩建ノ請願運動等ガ此頃アルヤウデアリ
マスガ、矢張政府ハ金建ヲ遂行ナサル御積リデアリマスカ
○土岐政府委員 金建問題ハ關東廳トシテハ全然動カナイ
積リデアリマス、又政府トシテモサウダラウト思ヒマス
○神野政府委員 滿鐵ノ東支鐵道ニ供給シマシタル石炭代金
云々ト云フ事ニ付テハ大藏省トシテ交渉ヲ受ケタコトハア
リマセヌ
○正木委員 參考ノ爲ニ關東廳ノ方ノ、地方費ノ本年ノ豫
算ヲ次マデニ御示ヲ願ヒマス
○水野委員 一寸極テ一口ト云フ譯ニイキマセヌガ、少シ
質問シタイコトガアリマスガドウデセウガ、時間ガ遅ク
ナツテ居ルヤウデアリマスガ………
○澤委員 遅クナリマスヨリモ、時計ヲ御覽下サレバ遅
イカ早イカ自ラ御明瞭ニナラウト思ヒマス
○水野委員 ソレデハ次ニ致シマス
○澤委員 本日ハ是ニテ散會致シテ、更ニ次回ハ公報ヲ
以テ御知ラセ致シマス、質問ハ保留シテ繼續スルコトニ致
シマス
午後零時十一分散會